

特集 村上市の魅力を生かしたまちづくり大作戦

～村上市総合戦略・人口ビジョン～



日本は人口減少時代に突入しており、村上市においては、県内市町村の中でも人口減少の進行が早い状況にあります。人口減少がそのまま続けば、地域経済の縮小や町内・集落の機能の低下など市の活力が失われていくことが懸念されています。

このような状況の中、市では、過去から現在に至る人口の分析から将来にわたる推計や展望を行う「村上市人口ビジョン」と、村上市の魅力を生かしながら、人口減少を克服するために取り組む5か年計画「村上市総合戦略」を定めましたので、その概要をお知らせします。

【村上市人口ビジョン】

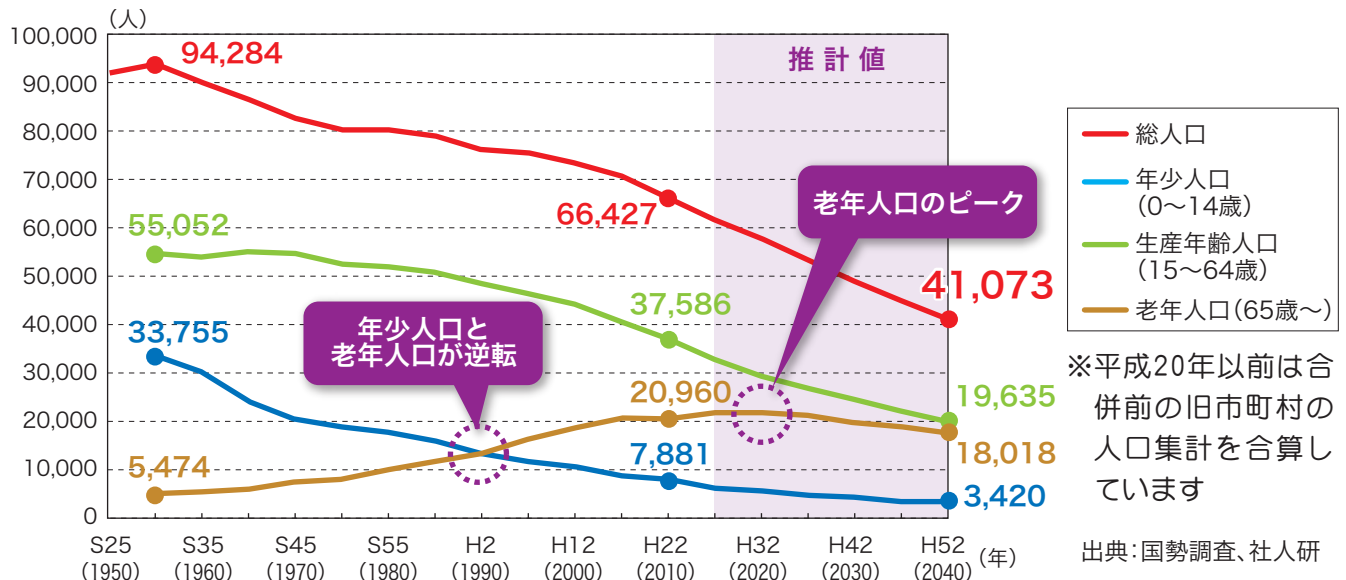
1. 人口の推移と推計人口

●24年後に4万1千人と予想

村上市の人口は、昭和30(1955)年の94,284人をピークに減少し続けています。国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」)によれば、平成52(2040)年には**41,073人**となり、現在の3分の2程度になると推計されています。



〈図1〉総人口と年齢3区分別の人口の推移



2. 人口移動の動向分析

●自然増減では年間約590人減(過去5年平均)

〈図2〉のとおり、平成2(1990)年に出生数と死亡数が逆転し、自然減の値は年々大きくなっています。

●社会増減では年間約260人減(過去5年平均)

〈図3〉のとおり、転入数、転出数ともに、年による変動はあるものの減少傾向で推移しています。

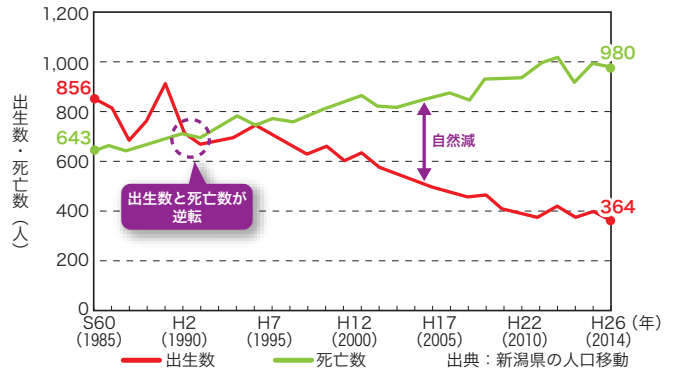
●年齢階層別の人口移動の分析では

15歳から24歳の若者の東京圏や新潟市などへの転出数が多く、進学に伴う影響が大きいと考えられます。

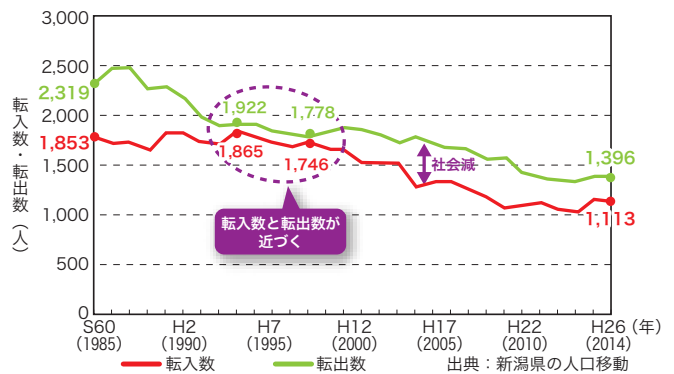
●産業と人口の分析では

村上市は、多くの産業で50歳以上の就業者が約半分を占めています。求人倍率は平成25年度から1.0を超えているものの、求人数の多い職種と求職者数の多い職種が異なる現状(雇用のミスマッチ)があります。

〈図2〉自然動態(出生数と死亡数)表



〈図3〉社会動態(転入数と転出数)表

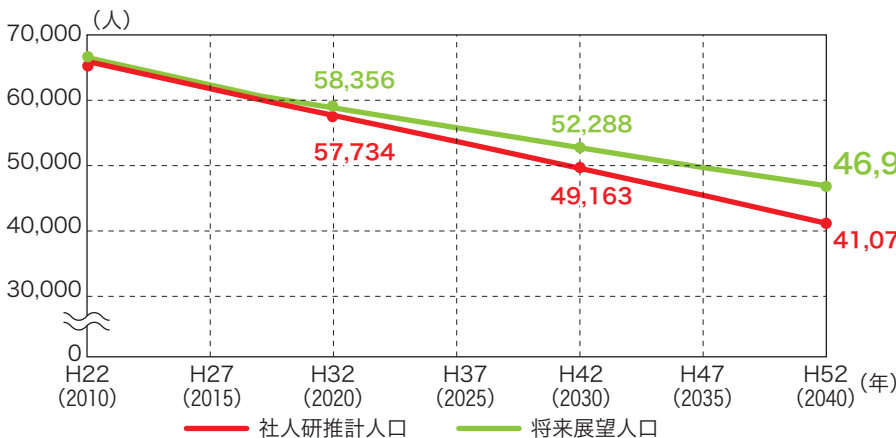


3. 村上市がめざす将来の方向性

人口動向をさまざまな面から分析した結果、次の取り組みを行うことで、人口減少を緩和させ、市全体の活力を生み出していきます。

- ①UIターンや定住者を増やす ⇒ **雇用を増やし活気のあるまち**
- ②住みたいと思う若者を増やす ⇒ **人をひきつけるまち**
- ③子育てしやすい環境を整え、子どもを増やす ⇒ **若者が暮らしやすいまち**
- ④人口減少に備えた地域づくり ⇒ **地域の連携と支え合いのまち**

さまざまな施策が効果を発揮するものとし、平成52(2040)年の村上市の人口を次のとおり展望します。



合計特殊出生率(※)を平成25(2013)年の1.63から段階的に上昇、平成52(2040)年には2.10に、その後も2.10を維持させ、平成27(2015)年以降、5年間ごとの人口流出を50%ずつ縮小させていくとした場合の村上市の将来展望人口

※合計特殊出生率：1人の女性が平均して一生の間に産む子どもの数

【村上市総合戦略】(平成27～31年度)

4つの政策理念でまちをつくる

「村上市総合戦略」では、「村上市人口ビジョン」で導き出された人口減少対策に関する将来への方向性を基本とし、政策理念を次の4点として、人口減少問題に対する政策を実施します。



1. 雇用を拡大し、^{にぎ}賑わいと活気のあるまちをつくる

多彩な支援策により市内企業が力を発揮し、地域産業が活性化することで、地域のモノや資金の好循環をつくり、雇用の拡大と活気ある地域を目指します。

(1) 創業と新たなビジネスチャレンジを支援

【平成31年度の目標】 創業者数 5件

- ・産業活性化および創業支援に関する支援策の強化
- ・創業支援の拡大
- ・新ビジネスの導入の促進

(2) 市内の産業活性化に向けた支援策の強化

【平成31年度の目標】 商談成立数 10件

6次産業化事業数 5件

- ・むらかみ製品の販路拡大
- ・産業活性化の支援強化

(3) 村上ブランドの生産拡大と担い手の育成

【平成31年度の目標】 村上牛出荷頭数 415頭 (10%向上)

農林業の新規就業者数 新規就農 20人 (延べ人数)

林業担い手10人 (延べ人数)

- ・村上ブランドの育成および生産拡大
- ・伝統産業の生産拡大に向けた支援
- ・農林水産業の担い手育成支援



ふるさと村上応援寄附金記者会見

2. 個性ある魅力を高め、人をひきつけるまちをつくる

当市の持つさまざまな地域資源を活用しながら新たな魅力づくりを行い、行ってみたい、暮らしてみたいと思われるような、人をひきつけるまちを目指します。

(1) 観光プロモーションの積極的な展開

【平成31年度の目標】 観光客入込み数 2,465,000人 (10%増加)

外国人観光客数 2,000人 (60%増加)

- ・観光プロモーションの強化
- ・外国人観光客の誘客の促進

(2) 地域資源を生かした観光開発と交流の拡大

【平成31年度の目標】 観光客入込み数 2,465,000人 (10%増加)

- ・観光交流人口の拡大
- ・地域資源を生かした体験プラン(イベント)の開発など



東京表参道・原宿エリアで開催した「新潟村上フェア」

3. 結婚や子育てを応援し、若者が暮らしやすいまちをつくる

若い世代の結婚・出産・子育てを応援し、このまちに住み、安心して楽しく子育てができるまちを目指します。

(1) 若者の定住および交流の促進と結婚のサポート

【平成31年度の目標】 イベントによるカップリング数 50組（延べ組数）
事業による若者のネットワーク形成 1件

- ・若者の出会いとつながりづくり
- ・若者が定住しやすい環境づくり

(2) 多方面からの子育て支援により安心な子育てを応援

【平成31年度の目標】 子育て支援センター利用者数 27,699人
多子世帯の割合増加 27.30%

- ・家庭保育への支援強化
- ・育児などに対する経済的支援の拡充

(3) 若者の就労支援と女性の働きやすい環境づくり

【平成31年度の目標】 就労相談窓口利用者の就労者数 30人
ハッピーパートナー企業数 27社

- ・就労相談窓口の設置
- ・女性の働きやすい環境づくりの促進



土曜日も開設している
神林子育て支援センター

4. 地域の連携により、支え合いのまちをつくる

人口減少を見据えた取り組みを早い段階から進めることで、市民の知恵と力を生かしながら、地域のネットワークの形成や担い手づくりを目指します。

(1) ふるさと回帰による移住促進

【平成31年度の目標】 空き家バンク利用者数 30件（延べ契約件数）

- ・空き家を活用した地域の元気づくり

(2) 地域の力を生かした支え合い体制の構築

【平成31年度の目標】 支え合い拠点の設置数 3件

- ・小さな拠点の形成

(3) 地域ネットワークの強化による地域活性化や地域機能の有効活用

【平成31年度の目標】 利便性が向上したと思う人の割合 40%（調査数の内数）

- ・定住自立圏による地域の連携づくり



村上地域コミュニティ空間
「土間ん中」がオープン

村上市総合戦略と人口ビジョンの全文は、市ホームページで公表しています。
また、市役所本庁政策推進課および各支所地域振興課、図書館（室）でも閲覧できます。

●問い合わせ 政策推進課企画政策室 ☎53-2111（内線532）